
鍵のかけたハズの家には――

冬馬(とうま)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鍵のかけたハズの家にいたのは――

【Nコード】

N3225Z

【作者名】

冬馬^{まじうて}

【あらすじ】

至って普通の社会人―紙敷敏樹―の家に突如現れた美少女。

その影に蠢く多くの者。

そして彼女の正体は――。

本編を読めばすぐに分かってしまう（笑

ー 出会いー (前書き)

色々つまづい場面を多くしたいと思っています。

R・15で収まる様にして行くつもりですが、**気まぜくなる様な作品**になって行きそうなので**覚悟**をしてください。

ー出会いー

ーある日、仕事から帰ってくると…。

美しいと言わざる得ない少女が玄関に佇んでいた…。

それも全裸で…。

「すみません！い、家を、ま、間違えました！！」

ドアを素早く閉め背をあてる。

(よく考えろ、俺！)

(…思えば俺はこのドアを鍵を使って開けたじゃないか！)

(そしたら、どうして間違える！？)

(いやいや、そもそも鍵のかかっている部屋の中にはどうやって彼女は入ったんだ???)

もう一度見てみたい。

そんな願望もあつたかもしれない…が、俺はもう一度ドアを開けて彼女を見た。

腰まで伸びた真っ白な髪、真っ赤に染まった目、メロンのように整った豊かな胸。

「おかえり…と言つのが礼儀と…聞いている…だから、『おかえり』」

不覚にも、俺は身長差から生まれる上目遣いおその言葉にトキメキを感じてしまった。

ー 出会いー (後書き)

度々気の向くままに書かせてもらってる冬馬といます。

不定期に書いている為、中々先に進むことが出来なかったり、ネタを作ることが出来なかったりで困っている内に勉強で動きづらくなっ
てしまいました…。

それでも書いて行こうと思いますが、なにとぞよろしく願います。
す。

「あいさつー」

「た、ただいま……。え、えーっと……どちら様で？」

「…ロザリエ・ナイトメア…」

「こりゃあご丁寧にどうも……。俺、紙敷敏樹かみしきとしきって言うんだ。と…取り敢えず、服…着てくれるか？ 流石に…気まずい…」

「タンスから男物で悪いけどそれしか無いので、割と新しめな服を一式彼女に渡す。」

「着替えが終わるまでそうは長くは無かったはずなのだが…。」

「理性を保つのに苦労した…。」

「それで？ どうやってこの鍵の掛かった部屋に入ってきたんだ？」

「着替えが終わったところを見計らって話しかけた。」

「霧になって…」

「そうか、そうか。霧にな…って??？」

「そう……。…霧になって…」

「霧？ ミスト？ WHAT？」

「（彼女はなにをいっているんだ？）」

「冗談か…何かか？」

「……違う……。だから、服がこの場に無い……」

俺は迷うことなく携帯電話を取り出した。

「……なにを……しようとしてるの？」

「なにして！ 警察を呼ぶに決まってるだろ！」

「…………め」

声が小さ過ぎた為に聞こえなかった。

「騒いでは……ダメ」

そう彼女はつぶやいたのだった。

しかし、既に遅かった。

電話はコールを終えて繋がってしまっただけ……。

「はい、こちら……ザッ……ザッ……お電話変わりました……。マル
コ、と言います。只今からそちらに向かわせて頂きます故、以後、
お見知りおきを……。紙敷敏樹様……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3225z/>

鍵のかけたハズの家にいたのはー

2011年12月11日04時05分発行